

■新川体育館の現状と方向性（H22.2 公共施設のあり方基本方針より抜粋）

○概要

所在地	清須市須ヶ口 1251 番地 1		
設置根拠	清須市体育館設置条例		
管理形態	直営		
所管部署	教育部スポーツ課		
建物概要	建築年月	昭和 45 年 11 月	
	延床面積	4,406.35 m <sup>2</sup>	敷地面積 4,257.84 m <sup>2</sup>
	構造	鉄筋鉄骨コンクリート造 3 階	
	耐震性	▲Is 値 0.136	劣化度 ▲評価点 65.5
	駐車台数	本庁舎駐車場と共有	

	基準値	基準値の考え方	備考
耐震性	Is 値=0.7	文部科学省が定めた「学校施設耐震化推進指針」に準拠。	Is 値=0.7 以上○ 0.7 未満▲
劣化度	評価点=75 点	調査項目ごとの劣化状況において、75 点以上を健全度として設定している。	評価点=75 点以上○ 75 点未満▲

○現状

現在の建物は、建築後 40 年以上が経過しており、耐震性が十分に確保されておらず、経年劣化も進行している。

新川体育館以外の類似施設と比較したところ、他のスポーツ施設は、耐震性・劣化度ともに問題が無い状況である。

○方向性の検討

耐震性が十分確保されておらず、劣化度も進行していることから、利用者の動向、建物のスペース構成、距離や使用料、避難所設置の視点から、方向性を検討する。